

水戸支部だより

第58号



現在の“青柳夜雨”碑



みと支部だより第8号(昭和59年)当時

水戸八景

青柳の夜雨

水戸市の中心・南町から太田街道に入つて約1キロメートル、那珂川にかかる万代橋のたもとの鹿島取神社の森を背にして自然石に「青柳夜雨」と刻まれた碑が建つてゐる。烈公は「雨の夜更に遊ぶ青柳の頭(ほとり)雨の夜に舟を浮かべて青柳の木の間を渡る風の涼しさ」と詠んでゐる。碑に被いかぶさるように樹齢およそ50年の柳(三代目といわれる)の枝が風にそよいでいる。那珂川の流れを前にして、農村風景が広がる。囲いの中には咲きかけのアヤメ、ツユクサが生えており風情を添えていた。

より一層の 団結と協調を

茨城県建設業協会水戸支部

支部長 尾曾 正人



去る4月25日の茨城県建設業協会水戸支部総会に於いて、夏坂支部長の後を引継ぎ支部長を仰せつかりました。支部員皆様方のご高配を宜しくお願ひいたします。御挨拶の冒頭に先ず、夏坂前支部長の長年に亘る御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第です。改めて、その重責に身の引き締まる思いであります。

さて、平成18年度を迎えて、我が国の景気は回復の軌道にあるやに報道されておりますが、景気の回復は業界や地域などで依然として大きな格差が生じております。この様な中で、地方建設産業界は事業量の大幅な減少により、かつてない厳しい状況下に置かれております。

今後も、財政悪化を理由に公共事業のより一層の削減が危惧されるところであり、公共工事に依存する割合の高い私ども地方の中小建設業者にとりましては、企業存続も危ぶまれるほど深刻さを増しております。

しかし、本県の建設産業は、県の基幹産業として、これまで社会資本の整備を通して、地域経済や雇用の面において、地域社会の発展に大きく寄与してまいりました。その役割は将来に亘っても変わらないものと確信いたしております。

これからは、財政逼迫の折り、より経済的で効率的な社会資本の整備手法が求められております。

このような困難な時代こそ、皆様方のより一層の団結と協調により、この激変する社会情勢に柔軟に対応し、企業存続を図っていかなければなりません。

最後に、支部員皆様方の益々の御活躍と御健勝をご祈念申し上げまして、就任の御挨拶といたします。

水戸支部だより 目次

○支部長挨拶 ······	2
○平成18年度定時総会 ······	3
○副支部長挨拶 ······	4
○選任された新役員 ······	5
○平成18年度事業計画 ······	6
○建設業暴力追放推進協議会水戸支部 平成18年度定時総会 ······	6

○各委員会平成18年度事業計画 ·····	6-8
○クローズアップ1 建設フェスタ ······	9
○叙勲おめでとうございます ······	9
○クローズアップ2 愛の献血会・「道の日」道路清掃活動 ···	10
○会員消息・訃報・編集後記 ······	11
○水戸八景解説 ······	12

平成18年7月1日発行

※本号より表紙の題字は、尾曾支部長の揮毫。

発行責任者/尾曾正人 編集責任者/綿引忠

〒310-0062 水戸市大町3-1-22

TEL:029-221-5129 FAX:029-231-1498

伝云

原案通り全議案可決



茨城県建設業協会水戸支部 平成18年度定時総会

茨城県建設業協会水戸支部の平成18年度定時総会は去る4月25日午前10時30分より、水戸市青柳の茨城県建設技術研修センターで開催されました。

夏坂支部長は冒頭の挨拶の中で、「鳥インフルエンザの防疫業務支援活動・地震災害時に於ける災害調査・道路清掃などの建設業の地域貢献活動への協力」に対してお礼を述べ、また、「公共事業の大幅な減少や、入札契約適正化法・独占禁止法・品格法等等により建設業の経営そのものが難しいものとなり、まさに強者と弱者の二極化が進む中、生き残りをかけて経営の合理化・近代化を進めなければならない。」と述べました。このような環境のなかで、「共存共栄をはかり、透明性を堅持し諸法令を遵守しながら、切磋琢磨して技術の研鑽と経営の改善に努めて競争社会を勝ち抜いていただきたい。」と励ましの言葉を述べました。

来賓からは、同協会の岡部英男会長からあいさつを頂き、「品格法が施行され、我々業者はより良い仕事をしたいが、公共事業費がこのような状況ではどうにもならない。6月には国交省関東整備局長が本県を訪れるが、目的意識を持って、若い人には率直な意見を

述べてもらわないとこの業界は良くならない。」と、述べられました。

議事では、平成17年度事業報告及び決算、会費の決定（案）、平成18年度事業計画（案）及び予算（案）など全議案を満場一致で可決・承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選では28名の理事、5名の監事を選任。尾曾正人氏が新支部長に就任、副支部長に犬塚卓・鈴木重男・松崎武夫・川又明氏が再任、新たに関根慎一氏が加わり、承認されました。

就任を受けて、尾曾支部長は「夏坂支部長の後を引き継ぐのは大変なプレッシャーだが、心強いスタッフと共に舵を取っていきたい。」とした上で、「これまでに経験した事のない氷河期をこの業界は迎えているといえるが、こういう時にこそ、お互い同じ方向を向いて、協力し合い、いつか良い時代が来るだろうと希望と元気を失わないようやっていきたい。」と、力強く抱負を述べました。

最後に、今期限りで退任となった夏坂支部長は、「地方の業者を救う取り組みが始まると思うが、それ待っていたのでは遅い。」と、会員に対して一層の協力体制の強化を要望し、これまでの支援に対する御礼を述べました。

副支部長 挨拶

企業の存亡をかけた受難の時代

土木委員会担当 犬塚 卓

官民の建設投資が長期間に亘って減少しております。特に、公共事業につきましては国・地方自治体の財政悪化により、更なる縮減が危惧されております。

公共事業に依存する割合の高い私ども地方の小規模建設業者にとっては、まさに企業の存亡をかけた受難の時代であります。

この苦境を会員企業がそろって乗り越えていけますよう、より一層経営基盤の強化や技術力の向上、人材の育成等に努め、発注者の信頼を確保して参りたいと存じますので、支部会員皆様のご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

スマートな建設業者である為に

建築委員会担当 鈴木 重男

今、建設業は公共工事が毎年毎年減少し、業者数は減ってはいるがその割に減ってはいない。従って同時に価格競争の時代でもある。

従業員をかかえている為に、直接工事費を削って単純に予算の〇%引とかで仕事を受注する有様である。単なる資金繰りなのか意味不明ことが多い。公共工事の入札に対する「談合問題」は大きくクローズアップされ、一般の人達もかなり感心が高くなっている。

オンブズマンの参画も多くなり、行政に対して厳しい対応を求めている。

談合問題は今年の1月より更に罰則が厳しくなり刑事罰、罰金、課徴金、指名停止等々、かなりの罰則であります。



▲左より犬塚・鈴木・川又・松寄・関根・各副支部長

又、低価格入札に対する考え方も大きく変わり、発注者側も総合評価方式等を取り入れ入札価格が安いだけでは落札としない仕組みになりつつあることも考えておかねばならない。

この様な環境の中で我々建設業者が真面目に生きていく為には正確な見積をする技術の向上ときめ細かい工事管理、更に自己資本の充実以外にないと思います。

協力業者に無理な価格を押しつける時代ではありません。これからは、職人も益々減少する実情を良く考え、長く仕事を続けるには協力業者と協調する姿勢が大切だと思います。

これからの建設業者は各々正確な見積をして、その見積を基に入札に臨むべき時代だと思います。

さらなる一致団結を

総務・広報委員会担当 松寄 武夫

平成の初めには180社を超えた当支部員も今日現在107社と激減し、支部の台所も火の車の状況となり、各企業同様如何に生き残るか正念場を迎えます。

「互譲と融和」を合い言葉にさらなる一致団結を図り、業界の発展と支部員の業績が上がる 것을目標に努力しなければなりません。

担当する総務委員会には、支部全般の運営について尚一層の厳正な規律を検討していただき、広報委員会には、ホームページを通じて支部員相互の意志の疎通が図れる組織を作り上げていただくことが目前の課題と考えます。支部員の皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

信頼互譲の精神で和をもって貴しとなす
経営委員会担当 川又 明

平成18年度総会におきまして副支部長に再任され改めて身の引き締まる思いをいたしております。

さて我が国の景気は徐々に回復している様ですが、依然として公共事業の減少・雇用情勢も厳しい状況が続き、いまだ明るい先が見えません。こうした中で私たちは和をもって貴しの精神で一致団結事にあたらねばなりません。私といたしましても全力を挙げ当支部の事業活動を進めて参る所存ですので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げ就任のご挨拶といたします。

自助努力で一致団結
親睦文化活動委員会担当 関根 慎一

この度、平成18年度役員改選に伴い、はからずも副支部長を仰せつかり身の引き締まる思いであります。尾曾支部長又4人の副支部長さんはベテランでありますので足を引張ることなく頑張って参る所存であります。皆様方のご指導よろしくお願ひ申し上げます。

中央では景気回復のきざしが言われておりますが、地方では未だ未だ厳しい状況下であります。自助努力は基より一致団結によりこの難局を切り抜け輝かしい朝日が燐燐と降り注ぐ日を祈念するところであります。担当委員会は親睦委員会ということですので委員の方々よろしくお願ひ申し上げあいさつと致します。

選任された新役員

支 部 長	尾曾 正人 東洋工業(株)	理 事	下田 徳行 菅原建設(株)
副支部長	犬塚 卓 (株)イヌヅカ	//	綿引 忠 (株)綿引誠工務店
"	鈴木 重男 (株)鈴木良工務店	//	小口 秀久 (株)共同建設
"	松寄 武夫 (株)田村工務店	//	荒川 芳和 水戸土建工業(株)
"	川又 明 (株)川又工務店	//	大谷 修 (有)大谷工務店
"	関根 慎一 (株)関根工務店	//	谷中 貞夫 (株)要建設
理 事	瀬谷 和人 瀬谷工業(株)	//	久保田正二郎 蒜屋建設(株)
"	清水 正美 六美建設(株)	//	夏坂 英俊 (株)大久保建設
"	佐藤 黙 (株)佐昌工務店	//	大内 正敏 昭和建設(株)
"	北島 忠 (有)北島工務店	//	鈴木 徳治 株木建設(株)
"	塙 定男 塙建設工業(株)	//	久野 勝史 (株)久野建設
"	西山 宏明 (株)西山工務店	//	宇野 健司 宇野建設工業(株)
"	福山 瑞男 (株)福山工務店	//	小高 直行 (有)東海組
"	田口 誠壽 (株)田口工務店	//	大貫 貞夫 (株)大貫工務店
"	常井 英一 (株)茨中	//	田口 恵一郎 田口建設工業(株)
"	奥川 兼男 (株)奥川工務店	//	豊島 功 (株) 豊島工務店
"	竹江金右衛門 (株)高田工務店		

平成18年度事業計画

【建設業経営に関する事項】

- (1) 経営者研究会の開催
- (2) 経営者講習会の開催
- (3) 雇用管理研修会の開催

【技術向上に関する事項】

- (1) 技術研修会の開催
- (2) 現場代理人実施研修会の開催
- (3) 発注機関及び関連機関との懇談会の開催

- (4) 優良工事現場視察研修会の開催

- (5) 調査・広報

【支部運営に関する事項】

- (1) 建設業安全教育研修会の開催
- (2) 工事現場安全パトロールの実施
- (3) 献血会の実施
- (4) 各種親睦文化活動の実施
- (5) 「みと支部だより」の発行

建設業暴力追放推進協議会水戸支部 平成18年度定時総会

引き続き、建設業暴力追放推進協議会水戸支部の平成18年度定時総会も行われ、平成18年度事業計画

(案)・同予算(案)などを原案通り可決しました。

各委員会平成18年度事業計画

総務委員会

委員長 下田 徳行

本年は2社の新入会員がありましたが、市町村合併により岩瀬地区の9社が筑西支部へ移りましたので今年度も新入会員のご紹介をお願い致します。

本年度の事業計画は例年の事業を踏襲してまいります。

- (1) 支部員の入・退会の検討
- (2) 会費納入状況の把握
- (3) 予算の執行状況
- (4) その他、執行部からの指示・要請に応じた調査・答申

委員長 下田 徳行 菅原建設(株)
副委員長 荻津 大恵 大恵建設(株)
〃 豊島 功 (株) 豊島工務店

委 員 犬塚 政男 (株) イヌヅカ
〃 久保田 晃 萩屋建設(株)
〃 大貫 貞夫 (株) 大貫工務店
〃 鈴木 勝彦 (株) 鈴木良工務店
〃 久保田 実 東洋工業(株)
〃 高野 要一朗 (株) 要建設
〃 田口 恵一郎 田口建設工業(株)

経営委員会

委員長 西山 宏明

建設業界を取り巻く経営環境が時代の変革により大変厳しいものとなり、出口の見えないトンネルの中で方向を模索しているような状況が続いています。

当委員会では、前年度より支部会員に役に立つ事業とは何か、時代にあった委員会活動とは何かをテーマに研究しているところです。事業計画は下記の通りですがより良い内容に

したいと考えております。

- (1) 雇用管理に関する調査研究・・・会社の内部充実が計れるような企画。
- (2) 安全衛生に関する講習会の開催
- (3) 経営に関する調査研究・・・建設業の経営環境はますます厳しいものとなっています。支部会員の意識向上、研鑽を目的とした事業を考えます。
- (4) 小・中学生による建設現場の絵画の募集
- (5) その他

委員長	西山 宏明	(株) 西山工務店
副委員長	北島 忠	(有) 北島工務店
"	荒川 芳和	水戸土建工業(株)
委 員	根本 勝義	(株) 根本工務店
"	横田 輝夫	(株) 横田建設
"	高橋 寛	高橋建設工業(株)
"	小口 秀久	(株) 共同建設
"	夏坂 英俊	(株) 大久保建設
"	宇野 健司	宇野建設工業(株)
"	鈴木 徳治	株木建設(株)

親睦文化活動委員会

委員長 福山 瑞男

平成18年度役員改選に伴い、委員長を仰せつかりました。夏坂支部長始め、支部員の皆様のご指導とご協力により、昨年度まで事業を推進してまいりました。今後の委員会活動は支部全体の事業になり、支部員のご協力なしには事業は進める事はできません。建設業の厳しい経営環境の中で尾曾支部長は「互譲の精神と共に存共栄」を言われて、久しくなりますが「春の来ない冬はない」の希望と元気を失わない精神を強調されております。親睦文化活動委員会の役割として、支部員の融和を図る環境を見出せる様、頑張りたいと思います。ご指導ご鞭撻をお願い致します。

今年の事業

①建設業のイメージアップを図る献血活動の

継続事業

②支部員の信頼関係を作る新年賀詞交歓会

委員長	福山 瑞男	(株) 福山工務店
副委員長	小高 直行	(有) 東海組
"	清水 正美	六美建設(株)
委員	久野 勝史	(株) 久野建設
"	川上 政之	(株) アイユー技建
"	大畠 実	(株) 大畠組
"	市毛 悟	東新建設(株)
"	鈴木 博和	姫子建設工業(株)
"	福田 三郎	(株) 福田工務店
"	宮本 孝	芳野工業(株)

土木委員会

委員長 田口 誠壽

平成18年度の事業計画を下記に基づいて実施してまいりますので、会員各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。

(1) 主任技術者研修会及現場代理人表彰式

水戸土木事務所のご指導のもとに新入社員講習及び熟練者の再教育を含めた研修会であります。研修会を受ける事によりさらに優良現場が増える事を期待致します。

(2) 工事現場の安全施設等の点検パトロール

本年度は12・1月の各一度づつ北部地区及び南部地区の2班に分かれ、各施工中の現場の安全管理が充分に行われているか、又、施工体系図等が明確に明記されているかを点検します。

工事現場の安全管理は、作業員だけでなく第三者の人命にもかかわる事故発生を未然防止する大切なことです。パトロールを通じて作業員全員に徹底されるようにしていきます。

委員長	田口 誠壽	(株) 田口工務店
副委員長	内藤 裕二	(株) 内藤工務店
"	秋山 進	(株) 秋山工務店
委員	小池 隆夫	(有) 小池工務店
"	川又 勤	(株) 川又工務店
"	芝沼 正勝	海老澤建設(株)
"	貝塚 之徳	昭和建設(株)
"	横田 隆一	(株) 横田工務店
"	市毛 精彰	(有) 市毛工務店
"	大座畠 敏博	(有) 大座畠建設

建築委員会

委員長 大谷 修

平成18年度の委員会事業計画を下記の通り決定いたしました。支部員の皆様に、より有意義な事業にしていくため、全委員努力してまいりますのでご支援ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

(1) 優良現場見学会（実施時期11月予定）

今年度も昨年見学しました京成デパートと同様に新工法の現場が少なくなりましたので、地元業者にとって身近な現場を見学したいと考えております。

(2) 技術研修会（実施時期2月予定）

日常の業務に対応できる研修を企画してまいります。

委員長	大谷 修	(有) 大谷工務店
副委員長	樋口 雄一	(株) 樋口建設
"	舛井 英二	茨水建設(株)
委員	塙 定男	塙建設工業(株)
"	佐藤 黙	(株) 佐昌工務店
"	中村 信夫	中村工業(株)
"	瀬谷 光一	瀬谷工業(株)
"	常井 英一	(株) 茨中
"	菅原 徹雄	(株) 阿久井工務店
"	池田 勇夫	コスモ総合建設(株)

広報委員会

委員長 綿引 忠

昨年から土木委員会出向委員が、長期病欠のため、横田隆一氏が替わって参加いただき、運営されています。平成18年度の役員改選に伴い、後記のメンバーで構成され新たなスタートをきります。事業内容は下記の通り、昨年同様会報誌「水戸支部だより」の年一回発行、インターネットによる広報活動・メールを活用した通信の簡素化を目指したいと思います。

- (1) 会報誌は年一回（7月発行）のため、支部活動の記録誌としての編集になります。
- (2) ホームページは、毎月各委員会の行事の紹介等委員が知恵を絞り、様々な情報を持載しますので、皆様是非アクセスして下さい。
- (3) メール通信を全会員に呼びかけ、通信の簡素化を目指します。

委員長	綿引 忠	(株) 綿引誠工務店
副委員長	荒川 芳和	水戸土建工業(株)
"	大内 常男	(株) 大内工務店
委員	犬塚 政男	(株) イヌヅカ
"	小高 直行	(有) 東海組
"	横田 隆一	(株) 横田工務店
"	常井 英一	(株) 茨中
"	松浦 義文	(株) 松浦工務店
"	関口 宏	(株) 関口工務店
"	木村 晃	大昭工業(株)



▲ 平成18年度定時総会

建設フェスタ2005

「建設フェスタ2005未来を創ろう！」が平成17年11月30日(日)、ひたちなかテクノセンター隣接地(ひたちなか市)で開催された。次代を担う子供たちに建設産業の魅力を楽しく体験し、理解を深めてもらおうと始まった建設フ

エスタも12回目を迎え、今回は県内各地から親子連れなど約2万人が来場。

約30の関係団体が多彩なイベントで建設産業の魅力をアピールした。



▲開会式



▲親子競技丸太切り



▲建設機械体験搭乗



▲工作コーナー

叙勲おめでとうございます



『夏坂専松』前水戸支部長には、建設業に携われて60年の功績にたいし、本年4月29日

の春の叙勲に『旭日雙光賞』の栄誉に浴されました。

水戸支部の役員も昭和49年から監事、理事を歴任し、平成10年から8年間の長きに亘り支部長の重責を全うして頂きました。

更に、(社)茨城県建設業協会副会長をも兼ねてお務め頂き、長年のご苦労に対し支部員一同御礼を申し上げると共にこの度の御慶事を心からお祝い申し上げます。

尚水戸支部としては、常任相談役をご委嘱申し上げ、今後共水戸支部のよき相談相手としてご指導をお願い申し上げます。

平成17年度 第23回「愛の献血会」

建設業協会水戸支部主催の第23回献血会が、平成17年9月16日（金）午前9時から午後4時まで、建設技術研修センター（青柳町）内にて行われました。



建設業関係者と一般参加者の協力により無事採血が出来ました。ご協力ありがとうございました。

献血者 230名



第24回「愛の献血会」開催のお知らせ

毎回献血会へのご協力ありがとうございます。皆様の心のこもった献血で尊い人命が救われています。本年もお誘い合わせの上、ご参加をお願い致します。

日時：平成18年9月15日(金) 9:00～16:00

場所：茨城県建設技術研修センター（水戸市青柳）

ご参加いただいた方にはお礼の粗品を差し上げます。

「道の日」道路清掃活動

(社) 茨城県建設業協会では、平成17年8月10日の「道の日」に私たち建設業者が社会に貢献する一環として県下一致の道路清掃を実施しました。水戸支部でも管内10路線に総勢

210名が参加し、雨模様の中歩道のゴミ拾いを実施し、少しは道路もきれいになったかと自負しています。日頃から道路への紙屑、吸殻の投げ捨てをしないよう心掛けたいものです。

市町村	実施箇所	収集ゴミ量	参加人数
水戸市	旧県庁から大町通り・北見町通り	90kg	66名
笠間市	笠間駅から笠間停車場線国道355号まで	10kg	25名
茨城町	役場から茨城鹿島線	40袋	20名
小川町	小川町役場から紅葉石岡線	500kg	21名
美野里町	羽鳥駅から国道355号まで（羽鳥小学校方面）	100kg	17名
城里町	役場から日立笠間線	50kg	21名
友部町	友部駅から平友部停車場線	58kg	22名
大洗町	大洗駅から大洗友部線	1,000kg	18名
岩間町	岩間駅から国道355号まで	7～8袋	21名
岩瀬町	岩瀬町から筑波益子線	13～14袋	24名



写真提供：日本工業経済新聞社水戸支局

会員消息

【新入会員】

おかとう
(株)岡藤 代表取締役 岡藤 計一
 小美玉市羽鳥976
 電話:0299-46-1472 FAX:0299-46-4890

おかとう
(株)柳田組 代表取締役 柳田 洋一
 東茨城郡茨城町大字小鶴1357-3
 電話:029-292-6103 FAX:029-292-9294

【代表者変更】

(株)川名工務店 代表取締役 小泉 三郎
 昭和建設(株) 代表取締役 長谷部一男

計 報

次の方々が逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げ、
 心よりご冥福をお祈り致します。

舛井 好雄氏 (88歳)
 茨水建設相談役元会長
 舛井英二建築副委員長実父
 平成18年2月20日逝去

田中 恵美子さん (62歳)
 潤沼建設工業
 田中弘美社長 令室
 平成17年7月8日

【所属支部変更】

飯田建設(株)	(株)長谷川興業
榎戸工務店(株)	羽黒石材工業(株)
(株)下條土建	(株)堀石材工業
玉造建設(株)	(有)谷中工務店
(株)仁平工務店	

※水戸支部より筑西支部へ

【退会】

園部建設(株)	(有)谷中工務店
安藤建設(株)	(株)高橋工務店
畠井建設工業(株)	(有)和田工務店

小口 三郎氏 (80歳)
 共同建設社長
 前副支部長
 平成18年1月10日逝去



▲水戸・保和苑のあじさい

編集後記

「水戸支部だより」も第58号の発行の運びとなりました。

これからもより内容の充実した「水戸支部だより」となるように、当委員会としても努力していきたいと思います。また支部の会員の皆様の手記やご意見等も広く募集しておりますので、よろしくお願ひ致します。

話は変わりますが、私は、水戸支部HPでも紹介している建設フェスタの担当をしております。「次代を担う子供たちに、建設産業の魅力を楽しく理解してもらう」ことを目的に開催してきましたが、建設業を取り巻く急激

な状況の変化に、本年は大幅な縮小予算の中での開催が避けられない状況となりました。

しかし、多数の建設業関連団体（国・県・その他民間団体）が一丸となり、建設業の魅力や必要性を一般の方々にPRするイベントは全国でも茨城だけです。「継続は力なり」。考え方には柔軟性を持って、根本的に考え方を変えて、お金のかからない新しい建設フェスタのスタートとし、大成功となるように頑張るつもりですので、支部会員の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願ひ致します。

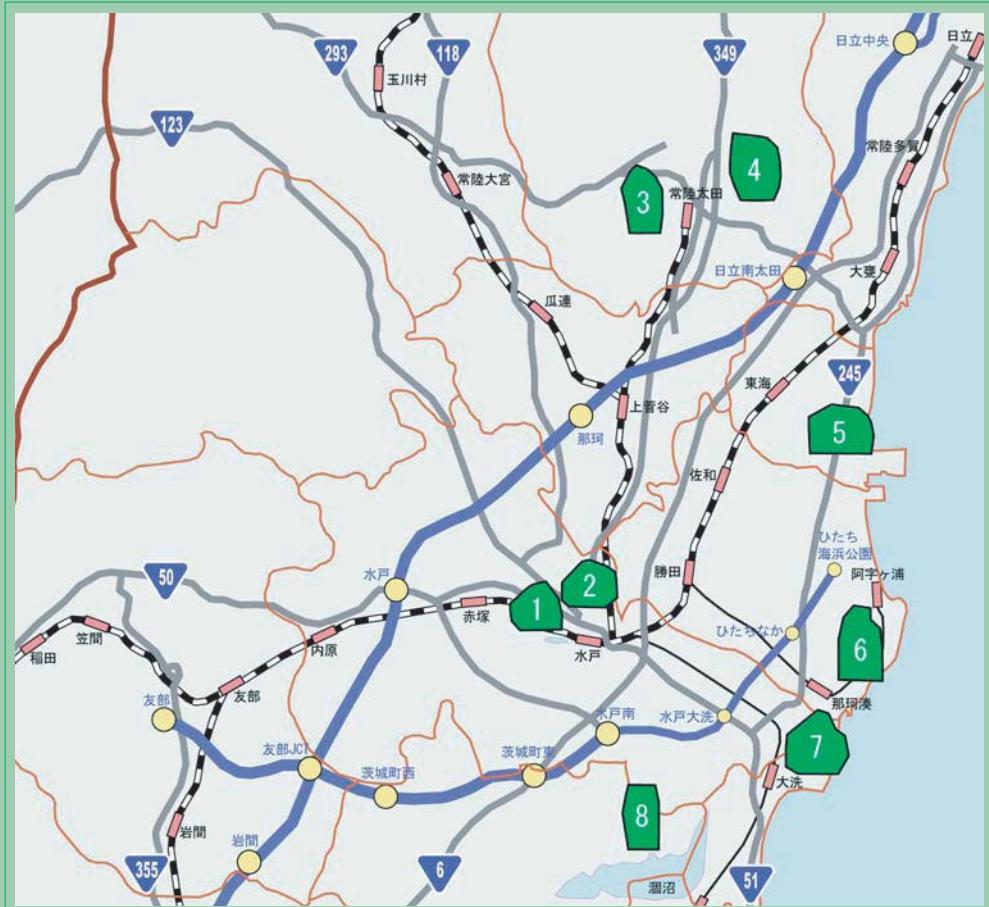
(横田 隆一 記)

水戸八景 解説

水戸八景とは、水戸徳川家第9代藩主斉昭公が、天保4年(1833)に領内を巡視し8つの景勝地を選定したものです。斉昭が、藩主を継いだ頃の世情は決して無事安寧ではなく、英明で霸気に富んでいた公であっても、心をわざらわすことが多かったのでしょうか。そのような意味でも八景の風景は公の憂いを散らすに役立ったに相違ありません。

しかし、八景設定の大きな目的は、藩内の子弟に八景巡りをすすめ、自然鑑賞と健脚鍛錬とを図ることにあったとされています。当時の流行語を用いれば、正に「文武両道の修練」に資せられたものといえるようです。今その地にはそれぞれ八景名を刻んだ烈公自筆の石碑が建っています。また、烈公が詠まれた和漢の詩句を記した立札などもあります。

水戸八景MAP



- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 儂湖暮雪 (水戸市常磐町千波湖畔) | 5. 村松晴嵐 (東海村村松虚空蔵尊) |
| 2. 青柳夜雨 (水戸市青柳町那珂川河岸) | 6. 水門帰帆 (ひたちなか市和田町) |
| 3. 山寺晚鐘 (常陸太田市稻木町旧久昌寺) | 7. 巍舟夕照 (大洗町祝町願入寺) |
| 4. 太田落雁 (常陸太田市栄町) | 8. 広浦秋月 (茨城町下石崎涸沼湖畔) |

— アクセスしよう！水戸支部のホームページ —

<http://www.sunshine.ne.jp/~kensetsu/>